

Rotary



# 宮崎南週報



ジョン・F・ジャーム  
2016-17年度RI会長

## 出逢う人と奉仕を共に

宮崎南ロータリークラブ

会長 野田一孝

### 第1904回例会

2017.1.23

会長／野田一孝 幹事／井上竜志  
副会長／日高章智 会報／戸高勝利  
例会場／宮崎観光ホテル  
ソング／奉仕の理想  
ロータリーの目的



オブザーバー  
富井雄二様

#### 会長挨拶

野田一孝会長



今月は、高瀬さんと今日入会される島田さんの2名の方が入会頂き有難うございます。当クラブも、明るい兆しが見えてきました。これから南ロータリーに馴染んで頂き、溶け込んで頂きたいと思います。会員の皆様にも、この新入会員の方のご指導をして頂くなど、フォローをお願いします。また、今後も会員増強の御協力を、宜しくお願いします。

遂に、昨日相撲で、稀勢の里が14勝1敗の素晴らしい成績で優勝し、19年ぶりの日本人横綱誕生が叶うのは間違いないようです。感動の日となりました。今スポーツ界では、2020年オリンピック東京大会に向けて、追風が吹いております。今まで以上の期待が持てる内容が次々と起こっております。やはり選手育成の成果がここに表れてきましたようにあります。世代交代を受けて、先輩OBの方々の指導などがここに表れてきているようです。これから増え目の離せないスポーツ界ですが、オリンピックの議論は、未だに行われており、早く決着していただき、スポーツ選手に負担のないようにしていただきたいです。

アメリカでは、新大統領の今までにない就任式が1月20日に行われました。様々な出来事が起こり、国を二分す

#### 出席委員会報告

松田安典委員長

##### ●出席状況

##### 本日状況

会員数 (40) 42名  
本日欠席者数 16名  
本日出席者数 26名  
出席率 65.00%

##### 前々回状況

会員数 (39) 41名  
ホームクラブ出席者数 26名  
メークアップ数 5名  
修正出席者数 31名  
修正出席率 79.49%

●前々回メークアップされた方／日高勇二会員、星野敬人会員、松田安典会員  
湯地浩隆会員、分田正明会員

ニコニコ BOX 0件 累計150,500円

募金箱 3,818円  
累計104,938円

るような勢いの様にあります。しかしながら、ロータリーの発祥の地であるアメリカ合衆国なのです。

##### 「四つのテスト」

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

やはり、行動で示して頂きたいと思います。この冬も本格的になっており、寒暖の差も激しくなりました。寒さ対策を十分にとって頂き職業奉仕に頑張ってください。

#### 幹事報告

井上竜志幹事



・地区クラブ研修・ロータリー雑誌

合同研修セミナーのご案内

3月12日(日)ロータリーの友委員会

より二神典子編集長を招いて、クラブ研修とロータリー雑誌との合同研修セミナーを実施します。

日時：3月12日(日) 11:00～15:40

都城メインホテル

講師はロータリーの友 編集長 二神典子氏

登録料 3000円

・4月よりロータリー米山奨学生を受け入れることになりました。



ロータリー情報

●ロータリー平和センター (Rotary Peace Centers)

ロータリーセンター・プログラムは世界理解と平和という財団の使命を達成するため最優先される教育的プログラムである。

## 親睦委員会



川村雅宣副委員長

- ・2月12日(日)宮崎南RCゴルフコンペの案内です。
- 青島ゴルフクラブ 10時20分スタート
- 参加をお待ちしております。

## ロータリーフラッシュ

### ●入会式

島田博良会員



### その他 .....

## ロータリー情報委員会

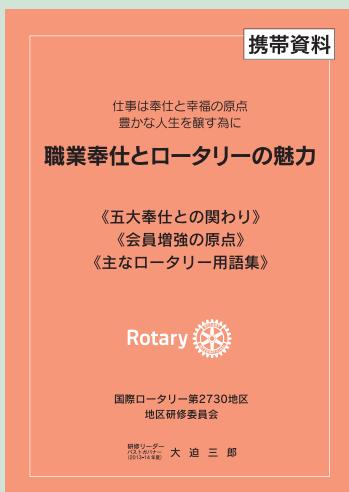
大迫三郎委員長



### ロータリーを学ぶ

ロータリーを知る目的で赤い表紙の冊子『職業奉仕とロータリーの魅力』を地区会員2350名に配布いたしました。

ロータリーを改めて解り易く、原点的な知識を掲載いたしました。“携帯資料”として活用して下さい。一応ロータリーに関する必要な情報は載っています。この冊子を基にして、例会毎に又はプログラムの中でフォーラムを行い一緒に学びたいと思います。ロータリーは職業奉仕、いわゆる仕事を通じて人々に尽くす事が第一義であります。その上で社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕、クラブ奉仕を実践し、自分の事業を活性化させるのが目的です。その為にクラブ会員が切磋琢磨して立派な事業人として社会人として人格の向上を目指します。



## 本日のプログラム

### 会員卓話

#### 弊社の現況や熊本支援活動について 入佐秀幸会員



みなさん、こんにちは、

昨年の卓話でホテル、コンベンションセンターの改装の話をさせていただきました。

ホテルは地下の売店エリアから1階のラウンジ、2階のエリア、客室、42階。コンベンションセンターは2階のロビー周り、4階の映像機器、絨毯などほぼ改装も終了いたしました。ホテルの2階には「風待ちテラス」という宿泊者専用エリアも設け、その中にレタールームという部屋もオープンいたしました。レタールームは、未来への自分に、いつか大人になった子供たちにあなたの大切な誰かに、思いを手紙に綴れる部屋になっています。未来への手紙はホテルで20年先までの分を預かれるようになっています。ホテルが切手も負担しますので普通に送れるようにもなっています。はがきや万年筆なども用意されていますので是非、皆様も大切な方へ思いを綴られてみてはいかがですか?

そして42階のレストランですが2月1日より「落合シェフ」監修のイタリアンレストラン「リストランテ・アルコ」がオープンいたします。ランチ、ティータイム、ディナータイムの営業となっています。

ランチとディナーでは、落合シェフのスペシャリテ“ウニのクリームソーススパゲッティ”をお楽しみいただけます。

ウニをたっぷりと使用した芳醇な香りとコクのクリームソース。さらに、隠し味のトマトソースのほどよい酸味が、ウニのクリーミーさをより引き立てる、贅沢な逸品です。

ランチは

前菜+パスタ=2,300円、

前菜+パスタ+メイン=3,300円

ディナーは6,800円 アラカルトはなしです。

ティータイムはデザートビュッフェ+ドリンク1,500円、ドリンクのみもあります。

時間とともに移りゆく景色の中、特別なひと時をご提供いたしますので、大切な記念日やお仕事でのご利用など皆様のお越しをお待ちしています。

あまり、宣伝ばかりするのもいけないので、去年弊社のCSR活動を簡単に話をさせていただきます。昨年も松林の保全活動や一つ葉ビーチの清掃活動などを行ってきましたが特に熊本地震で被災された方々への支援に力を入れ活動いたしました。去年の熊本地震直後に被災された方々に何か支援はできないか考えたところ、ホテルで使用しているバスタオルなどで若干の汚れやホツレがありお客様には使えないものでも十分にタオルとしては使えるものが600枚ほどありましたので何か役に立つだろうと早速、益城町役場と連絡を取りダンボールで発送いたしました。

その後、食料支援は何かできないか総料理長などを相談し、発生一週間後にグランメッセ熊本へ炊き出し支援に向かいました。グランメッセ熊本に避難されている方々は当初、車中泊含めて8,000名ほどいらっしゃるという情報で、当社からの炊き出しだけでは到底まかないきれない数でしたので小川屋の早瀬さんに急遽、おにぎりを依頼して快く引き受けてもらいました。結果、当社からカレー 1,200食、パン2,000食、小川屋さんからおにぎり3,000個、お漬物、固形の栄養食品2,000個を用意し何とか8,000人分くらいの食料を手配してグランメッセ熊本で炊き出し支援を行いました。地震から一週間後で国道3号線は非常に渋滞でしたので、この渋滞を避けるため山沿いの道で目的地に向かったのがとんでもない間違いでいた。残り数キロの地点で通行止めに会い、迂回路を行くもいたるところ通行止めで迷路に迷い込んだ次第でした。あまりにも多い通行止めでさすがにこれは辿り着けないかもしれないとあきらめかけましたが何とか辿り着けて避難者のみなさんへ夕食が提供できました。調理スタッフが10名、サービススタッフ10名、計20ほどで料理などの提供をしました。料理も喜ばれましたが料理とは別にタオルも600枚ほど持っていましたところこちらのほうが好評で先に無くなりました。正直たぶん余って持って帰ることになるだろうなと思ってましたが避難所では洗濯もできないのでタオルは何枚あってもいい、車中泊の方は毛布代わりになると人気でした。そして、小川屋さん提供のお漬物は避難所生活の食事では塩分が採れないということでお漬物は大人気でした。小川屋さんの読みは凄いなと感心していました。

弊社も熊本地震の影響を受け営業的に非常にス

ローになってしましましたので、何らかの支援を継続しようと5月以降も炊き出し支援を9月まで計14回、皿などの物資支援を計2回実施しました。支援箇所は益城町、御船町、嘉島町、西原村の体育館、小学校、福祉センターなど7箇所に行き、弊社のボランティアスタッフは調理スタッフ含め延べ230人ほどが参加し、調理スタッフはコンベンションセンターの総料理長自らが参加しカレー、うどんだけではなく、宮崎牛の焼肉ピラフ、パエリア、宮崎牛の牛丼、最後は宮崎牛の鉄板焼き＆炊き込みご飯など色々と安心安全に提供できる料理を考え延べ6,300食程を提供しました。

皆さんからは、

「避難所では料理はできないので温かい食べ物は助かります」

「普段は菓子パン二個で目の前で調理された料理は美味しいでありがたい」

「生野菜や肉、魚が食べれてないのでそういったものがあると嬉しい」などコメントをもらいました。中には「菓子パンばかりで菓子パン恐怖症になっています」などもありました。

9月最後の炊き出しにはオリンピック銅メダリストの松田選手、久世コーチも参加していただき避難所のみなさんもお二人と握手をしたり記念撮影をしたり銅メダルを触ったりして元気をもらったと喜んでおられました。

支援物資はタオルの他にはホテルで使用していた皿や使わなくなったビーチサンダル、ビニールバックなどを提供しました。

毎週、大分から支援に来られている方もいらっしゃり、沢山の方がいろんな支援をされており、弊社が十分な支援ができたとは思っておりませんが今後も何かできることができがあれば継続して支援をしていければと考えています。